

# ことはあちから

自分の命を、自分の時間を自分のために、誰かのために、大切に使う。そんな人生でありたい。

「ありがとう」の言葉を残して逝きたい  
「終わりよければすべてよし」とは  
シエクスピア(1564~1616)の戯曲名のひとつですが、人生こそ、そのようなものです。納得して死ぬるか、さらに言えば、最後に「ありがとう」と言って死ぬるのかどうかだと、私は理解しています。地位や名誉は死ねばなくなる。財産も残したところで争いの種をまくだけです。「ありがとう」のひと言は、残される者の心をも救う、何よりの遺産です。このひと言の価値を現代医療はもっと顧みなければなりません。少なくとも医師たる者は、死にゆく患者がその人らしい死を完成できるように、苦痛があれば取り去り、最後の言葉を交わせるようにすべきでしょう。からだ中に管を差し込まれたままで、どうして、めいめいの死を演じられるのでしょうか。  
「尊厳死」望むかどうかを問うまでもなく、人はみな尊厳をもって人生の幕を閉じるべきなのです。昨日私のもとに、10日前に奥さんをガンで亡くしたばかりの御主人から長い手紙が届きました。  
亡くなった奥さんは「最期を聖路加国際病院で終えたい」と望まれ、死までのひと月を聖路加国際病院で過ごしました。痛みを取るよりほかに医者として尽くすべき手はありませんでした。  
せめて音楽が心の慰めになるかもしれないと思い、私は音楽療法士に頼んで、彼女が好きだった曲などを枕元で流していました。  
御主人からの手紙には、  
「妻は美しい旋律に包まれ、幸福感に満ちた臨終でした。最高の別れでした」と、おそろしくいまが一番つらく悲しいはずでありながら、喜びと感謝の言葉がこぼれ出ていました。最高の死は、死にゆく本人の力だけで演じられるものではありません。家族、友人、医療に従事する者の、深い理解とバックアップが必要なのです。それがひとつになったとき、死は悲しいには違いないけれど、何かさわやかな、あたたかな、いきいきとした、命の受け渡しの最高の機会となり、残される者の心にも感謝の思いが生まれるのです。

著者/編集 日野原重明  
出版社 ユーリーグ より抜粋

私はこの言葉が、とても沢山のメッセージを伝えていると感じました。貴方にはどう伝わりますか？

高齢化社会となった今こそ  
「人生経験を社会に還元してゆく」  
尊敬し、一歩でも近づきたいと生き方の師匠としてきた  
「日野原重明先生」。  
これからも足跡を辿りながら、自分磨きに努めます。  
ありがとうございました。  
2017年7月18日105才没  
日野原先生が遺して下さった  
言葉をかみしめてみてください。

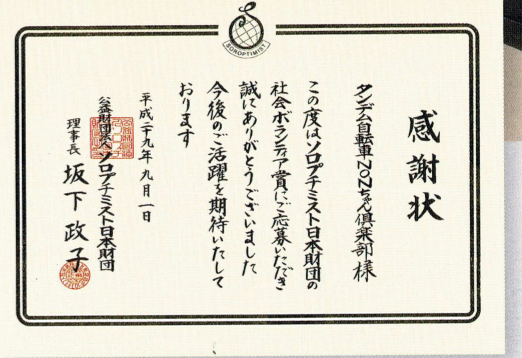
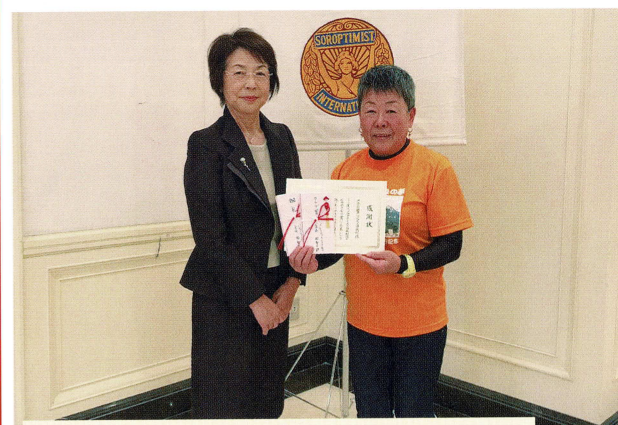
「いのち」は だれにも平等にあります。  
1日1日の時間のなかに  
いのちがあるのです。  
その時間を みんなのいのちとして  
大切にしたいのです。  
いのちを無駄にしないこと、いつかは  
時間を無駄にしないこと、いつかは  
人が生きていくうえで  
もうひとつ大事なことがあります。  
それは「こころ」です。  
おたがいに手をさしのべあつて  
いっしょに生きていこう。  
こころを育てるとは  
そついつとことです。  
自分以外のこのために  
自分の時間をつかおうとすることです。  
「誰かの時間を自分に使ってもらっていること」  
のありがたさや  
「自分の時間を誰かに使うこと」の大切さ。  
「私は生きがい」とは  
自分を徹底的に大事にすることから  
始まると信じている。

いのちのおはなし  
(講談社の創作絵本) 単行本  
日野原重明著 より抜粋

自分を大切に、さらには人を大切にする事の重要性を生涯通して伝えた日野原先生の生きざまは忘れません!!



## 授与報告



タンデムがも自転車NONちゃん倶楽部は  
平成29年度、ソロプチミスト日本財団より  
感謝状を授与されました。

公益財団法人ソロプチミスト日本財団は日本のソロプチミストが、より豊かな生活の実現と国際相互理解の進展に寄与するための事業を行っている組織で、昭和54(1979)年3月24日に厚生省(現厚生労働省)を主務官庁とする民法上の公益法人として誕生。ソロプチミスト精神に則り、さまざまな奉仕活動に対する援助や協力を行うことにより、より豊かな生活を実現し、国際相互理解の促進に寄与することを目的に、顕彰事業や援助事業などを実施しています。各賞の顕彰や援助金の贈呈は、毎年日本各地で開催する年次贈呈式において執り行っています。

タンデムがも自転車NONちゃん倶楽部を応援しています

住宅の新しい外観をサポートします。

株式会社 キド工業  
KIDŌ KOGYO

■本社 愛媛県松山市平井町3248-3

TEL089-975-5566 FAX089-975-9555

空には星を 地には花を 人には愛を……

どんな困難にも負け無いで!!

城戸 容子

タンデムがも自転車NONちゃん倶楽部を応援しています。

心に花一輪

松山市平井町 2338-2

秘密の部屋のおはなし会

おはなしを語りたい人  
聞くだけの人  
児童文学が好きな人  
おはなしを楽しみたい人

主催：みつどうゆみこ  
TEL089-977-8714  
松山大学西門前の赤い家

みんな集まって楽しむ大人のおはなし会です。宮本道恵